

地域の食材を活用した商品開発で地域貢献を目指す『東北を食べて、元気に！』プロジェクトを発足しました。

セブン - イレブン・ジャパン(以下:セブン - イレブン)は、地域経済の循環や環境への配慮を目的とする『東北を食べて、元気に！』プロジェクトを東北エリアにて発足し、その第1弾となる新商品3品を、宮城県内のセブン - イレブンと福島県の一部店舗で2月21日(火)より発売しました。東北エリアは、全国的に見ても人口減少が続いており、過疎化、高齢化が進む一方、優良な食材が豊富な地域です。今回、東北エリアの優良な食材を使って、品質と美味しさにこだわった商品を東北エリア内で製造、販売することで、東北エリア内の経済循環や、地域食材の持続可能性に資する取り組みにつなげたいとの思いから、『東北を食べて、元気に！』プロジェクトを立ち上げました。本取り組みの第1弾として、青森県産の「地養豚」を使用した新商品を開発しました。飼料にこだわり、ストレスの少ない環境で飼育された銘柄豚で、中でも数少ないJ - GAP認証を受けた青森県内の養豚場「みのる養豚」より供給いただいている安全安心な食材です。地域で生産された食材を使用することで、フードマイレージの削減による環境負荷低減にもつながっています。セブン - イレブンではこれまでも、日本各地の優良な食材を使用した商品開発に取り組み、地産地消の推進に取り組んでまいりましたが、今回のプロジェクト発足を機に、商品の購入を通じてお客様にも地域を応援していただける商品の開発を更に加速させ、地域との共創と社会課題の解決に取り組んでまいります。



地養豚の
ロースとんかつ弁当



地養豚の
トンテキプレート



地養豚の
ロースかつサンド

【商品開発担当者から】

私たちの事業は、数多くのフランチャイズ加盟店のオーナー様に支えられています。他の地域よりも早いペースで人口減少や少子高齢化が進む東北で、オーナーの皆様にも力強く店舗経営を続けていただくためには、地域の持続的な発展が不可欠。だからこそ、事業を通じて地域経済に貢献することが私たちの社会的責任だと考え取り組みます。



関連情報

